

おかざき 議会だより

令和5年5月1日発行

vol.

217

2023

3月
定例会

大河ドラマ「どうする家康」を好機とし
本市の魅力向上へ。
過去最大規模の一般会計予算が可決！



- P02 代表質問
- P07 主な議案 他
- P09 委員会審査
- P11 討論
- P12 審議結果 他
- P14 委員会調査報告
- P16 6月定例会予定 他

更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



(表紙写真の説明は裏表紙をご覧ください)

代表質問

3月定例会では、市政の課題や重要事項などについて会派の代表者による質問を行いました。なお、本紙では、太字の質問項目について掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議会映像でご覧いただけます。

代表質問の掲載原稿は、発言に基づき質問議員が作成しています。

自民清風会

- ・令和5年度当初予算編成
- ・観光戦略
- ・暮らしを支える都市づくり
- ・暮らしを守る強靱な都市づくり
- ・持続可能な循環型の都市づくり
- ・多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- ・健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり
- ・女性や子どもがいいきいきと輝ける社会づくり
- ・誰もが学び活躍できる社会づくり
- ・商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- ・ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり
- ・スマートでスリムな行政運営の確立

民政クラブ

- ・市長の政治姿勢
- ・予算編成

物価高騰 暮らしを支える都市づくり

- ・暮らしを守る強靱な都市づくり
- ・持続可能な循環型の都市づくり
- ・多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- ・健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり
- ・女性や子どもがいいきいきと輝ける社会づくり
- ・誰もが学び活躍できる社会づくり
- ・商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- ・ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり
- ・スマートでスリムな行政運営の確立

チャレンジ岡崎

- ・市長の政治姿勢
- ・市民病院と保健所
- ・予算編成
- ・第7次総合計画

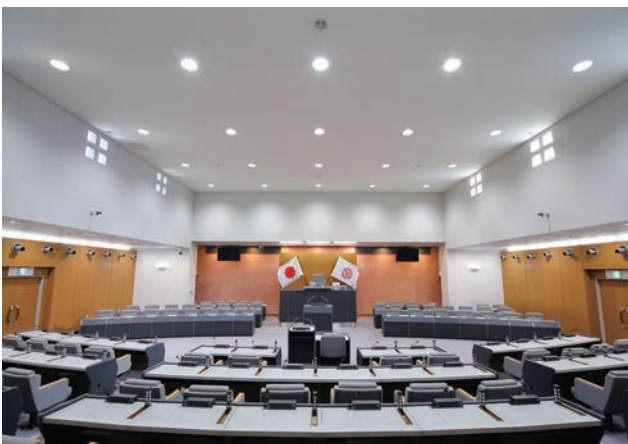
公明党

- ・令和5年度当初予算
- ・暮らしを支える都市づくり
- ・暮らしを守る強靱な都市づくり
- ・持続可能な循環型の都市づくり
- ・多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- ・健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり
- ・女性や子どもがいいきいきと輝ける社会づくり
- ・誰もが学び活躍できる社会づくり
- ・商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- ・スマートでスリムな行政運営の確立
- ・令和5年度組織改正
- ・新型コロナウイルス感染症対策



代表質問とは

- ・会派を代表して行う質問のことです。
- ・岡崎市議会では、予算の審議や条例案などが多い3月定例会で代表質問を採用しています。





自民清風会

小木曾 智洋

アフター大河を

見据えた戦略

問 大河ドラマの放送に伴うに

観光戦略に取り込み、活用していくのか。

答

大河ドラマの放送開始により、本市への関心度が高まり、各施設で観光客が増加している。大河ドラマを活用した取り組みは、本市の知名度を向上させるだけではなく、岡崎と徳川家康公をセツトにして発信するため、徳川家康公生誕の地としてのブランドも強く押し出していくことができ、まさに本市にとって絶好のプロモーションの機会だと考えている。まずはこの1年で来訪者の増加や知名度の向上などの成果を上げた上で、アフター大河期の本市の武将観光、とりわけ家康公と三河武士ゆかりの観光活性化に力を入れたと考えている。

東岡崎駅周辺の

まちづくり

問 東岡崎駅周辺のエリアビジョンに基づく、まちづくりの

今後の予定は。

答

東岡崎駅周辺地区の第2期整備を、駅舎や駅ビルの建て替えのみで終わらせることなく、交通結節機能に加えて更なるまちなぎわいを生み出すため、北口中央街区に様々な都市機能を集積し、乙川の河川空間と一体となり、駅とウォーカブルにつながることで、ゆとりある「駅まち空間」を関係者の連携により実現していくことが重要と考えている。そのため、当街区のまちづくり方針を示すビジョンを策定することにより、本市のまちづくりの中核を担う場所として、駅から乙川への魅力的な眺望や景観を生み出し、心地よく滞在や回遊を促す公共空間を確保するようにまちづくりを推進するとともに、エリアの価値向上と持続的発展を実現するための高度利用を進めていく。

患者サポートセンター

問 市民病院へ患者サポートセンターを新たに開設する目的

と、期待される効果は。

答

患者サポートセンターは、患者の入退院支援や疾患相談、社会保障制度などの各種相談機能を1カ所に集約して、患者の相談窓口を一元化するものである。主に入院支援、退院支援、各種相談の三つの機能と、地域における疾患相談や診療での役割を担っている。患者サポートセンターでは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ、社会福祉士など多くの職種が関わり、各職能を生かして、入院前から入院中、退院後を見据えた支援計画を作成し、患者に必要な支援を早い段階から効果的に実施するため、診療の質の向上と併せて患者満足度も向上すると同時に、地域から期待される相談・診療機能などの役割を果たすことができると期待している。

带状疱疹予防接種の助成

問 带状疱疹の予防接種費用を助成する対象者及び接種費用

に対する市の助成額は。また、予防接種の効果は。

答

接種対象を原則50歳以上としてワクチンが薬事承認されていることや、带状疱疹を発症しやすい年代であることから、接種費用を助成する対象者は50歳以上の成人を予定している。接種費用は、一般的には生ワクチンは8千円程度、不活化ワクチンは1回当たり約2万円程度で2回の接種が必要とされているため、他の自治体の助成額も参考にして、生ワクチンは3360円の助成を1回分、不活化ワクチンは1回の接種で1万600円の助成を2回分助成する。また、予防接種の効果については、原因ウイルスに対する免疫を付加することで带状疱疹の発症率を低減させ、重症化を予防するとともに、発症後の神経痛など合併症の予防にも有効とされている。



民政クラブ

加藤 嘉哉

空き家対策

問 空き家対策の取り組みを強化するため、空家法基本指針と特定空家等ガイドラインが改正されたが、その変更点と方向性は。

答 主な変更点としては、特定空家等の対象に、著しく保安上危険または著しく衛生上有害な状態である空き家に加えて、将来そのような状態となることが予見される空き家などが含まれることになる。著しく保安上危険または著しく衛生上有害な状態である空き家は、令和5年2月末現在で30件把握しており、順次、特定空家等の措置を進めていく。また予見される空き家等は117件把握しており、所有者等の対応状況や地域全体として問題となっている空き家であることを条件とした上で、今後、特定空家等となるか否かの判断を行い、措置を進めていく。

福祉相談

問 3年4月から福祉総合相談窓口がスタートしたが、4年度の取り組みの評価と5年度の取り組みは。

答 4年度は、お困りごと連絡帳の設置やポータルサイトの開設などにより相談窓口の周知を図った他、複合的な課題を抱える世帯に対しては、支援に関する会議を必要になる度に開催することで、より柔軟な対応ができた。また、地域づくり事業ではOKフールドライブの開催をした他、子ども食堂の立ち上げや運営支援、運営費などの補助を実施し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受ける子ども食堂の活動を支援した。5年度は、他機関との連携体制を強化していくとともに、孤独・孤立、ヤングケアラー、ひきこもりなど分野をまたぐ課題にも、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業や参加支援事業を通じて対応していきたい。

学校施設の重点的取組

問 学校施設の5年度における重点的な取り組み内容は。

答 本市の小中学校の校舎や屋内運動場は、約半分の建物が建築後40年以上経過し、老朽化により学校から修繕の依頼が多く寄せられているため、施設の内部と外部を一体的にリニューアルする大規模改修を、岡崎市小中学校施設長寿命化計画に基づき計画的に実施していく。5年度は小学校2校と中学校1校の校舎、小学校1校の屋内運動場の工事に着手し、大規模改修を進めていく。また、市産材を使用した内装の木質化、要配慮児童生徒等が校舎内を円滑に移動できるエレベーターの設置や段差の解消などのバリアフリー化、ホワイトボードへの改修やロッカーの大型化などの普通教室整備にも取り組み、児童生徒が安全・快適に学べる教育環境の整備を進めていく。

企業立地

問 本市に工場等を立地してもらうために、攻めの営業戦略を進めるべきと考えるが、見解は。

答 本市に企業立地をしてもらうための営業戦略として、工場等建設奨励金の奨励措置がある。市の人口が30万人以上である場合には事業所税が課税されるが、本市では市内に工場等を建設した場合には、事業所税資産割額相当額を5年間交付している。また、3年4月からは、工業団地や工場等の建設に関する規制を緩和した産業立地誘導地区などに更なる立地の促進を図るため、土地、家屋、償却資産に係る固定資産税額相当額の3年間の交付を加えた。特に、本市では一つの事業計画で市の奨励金と県の奨励金の双方の奨励措置を受けられる点や、奨励金の上限額が10億円で、西三河で最高額である点からしても、本市への立地は魅力的に感じてもらえると考えている。



チャレンジ岡崎

青山 晃子

八丁味噌G-I問題の

現状と今後

問

八丁味噌のG-I登録問題の
現状と、今後の支援は。

答

G-I制度により、登録産品以外は名称の先使用权であっても使用できる期限が7年と定められており、市内の製造2社が八丁味噌の名称を使える期限は令和8年1月末までとなる。期限までに登録できなければ、その後は商品に登録産品ではないことを明記することが必要となる。本市としても、伝統的製法を守り続け、文化財としても価値があると考え、岡崎の八丁味噌を今後も誇りを持つて造り続けられるよう、訴訟の状況を見守りつつ、八丁味噌は岡崎のものだという市民の気持ちに寄り添い、国と事業者の意見の相違を埋めていけるような橋渡し役として、G-I制度の保護を受けられるよう粘り強く支援していく。

パートナーシップ・

ファミリーシップ制度

問

制度が開始して約1年が経過したが、現在の状況及び取り組みの内容は。

答

本市は県内で初めて条例で制度を位置付け、市営住宅の入居申し込みや結婚新生活支援補助金の申請を始め、様々なサービスが利用できるなど、多様な性を尊重するまちづくりに取り組んでいる。制度開始後は、市政だよりやYouTubeによる広報活動、市民向けの啓発講座や職員向けの研修などに取り組んでいる。また、民間に対する働き掛けも重要と考えており、これまでも市内事業所の男女共同参画・女性活躍推進対策で社会保険労務士をアドバイザーとして派遣していたが、新たにLGBTQに配慮する労務管理相談をメニューに加えて、サービス内容の拡充を図った。今後も啓発や理解促進活動を着実に継続し、多様な主体が協働・活躍できる社会の実現を目指していく。

子どもの第三の居場所

問

中高生の家庭や学校以外の居場所づくりについて、本市の考えは。

答

中高生の居場所として特定の施設はないが、子ども食堂などの他、利用時間などの課題はあるものの、5年度からは利用者拡大する地域福祉センターも利用できる。地域福祉センターでは、友達と過ごしたり、自主学習をしたり、そこで出会った他の利用者や交流できるような行事や企画を行っていく。その他、中学生では、生活困窮世帯等を対象に実施している学習支援の会場において、子ども同士や支援員との交流、学習以外のイベントなどを実施している。高校生では、高校生まちづくりプロジェクトによって地域づくりに参加する活動を推進しているが、地域活動への参加が一つの居場所になると考えている。なお、高校生まちづくりプロジェクトは5年度も継続する予定である。

乙川リバーフロント

交流拠点整備事業

問

清算協議の進め方は。また、事業が中止となった場合、完全に白紙からの見直しとするのか。

答

事業契約が締結に至らなかった場合、SPCがプロジェクトの準備のために支出した費用があれば、市の負担は合理的な範囲において判断することになるが、2月24日のSPCとの定例会の時点では、費用負担について明確な意思表示はなかった。なお、3年12月の和解成立により、既に支払い済みの部分は除外されることになる。現在は、契約に向けた優先交渉権者との協議が中止となった状況である。今後は次点交渉権者へ事業参画について確認をするところになるが、参画意思がない場合は事業契約の相手がいなくなり、公募が振り出しに戻る。再公募については、アフターコロナの情勢などをしっかりと再認識し、募集要項や要求水準などの見直し後に再募集をしたいと考えている。



公明党

野島 さつき

妊娠前から子育て期にわたる切れ目ない支援

問 専業主婦や育児疲れを抱える保護者を支援するためにも、

未就園児の一時預かり等の支援の拡充が必要と考えるが、見解は。

答

令和5年4月から二つの幼稚園が認定こども園に移行するが、そのうち1園で新たに未就園児の一時預かりの受け入れができる体制を整えている。受け入れが可能な施設の確保について、幼稚園等も含めて、引き続き実施に向けて事業者等との協議を進めていきたいと考えている。一時預かり以外の対策として、新たに0歳児から2歳児を対象とした民間の小規模保育事業所の開設に向けて、事業者の選定に関わる経費を5年度当初予算に計上している。今後、必要な区域に設置を進め、保育の受け皿を確保し、受けられるサービスの向上に努めていきたい。

持続可能な町内会活動

問 定年後も仕事を持つ人が増え、役員の成り手不足の声も耳にするようになってきた。町内会活動を持続可能なものにするための支援策は。

答

町内会活動への理解促進のため、総代会連絡協議会のホームページの活用、他、町内会活動の手引の作成や配布、新任町総代向けの研修動画の配信など、情報提供を行っている。また、今年度は学区総代会長を対象に、担い手不足やコロナ禍における町内会運営の在り方に関する研修会を開催した他、課題や取り組みなどについて総代会長間で意見交換を行う機会を持ち、参加者からは、今後の町内会運営の参考になったとの意見があった。今後は町内会活動へのデジタル技術の導入など、総代会の負担の軽減などについて検討を進めつつ、持続可能な町内会となるよう、引き続き活動の活性化に対する支援を実施していく。

QURUWA戦略

問 4年度の成果と、5年度の取り組みについて問う。

答

4年度は、まちの魅力向上に結び付けることを目的に、企業を対象とした事業リノベーションスクールを開催や情報の発信を中心に取り組んできた。また、市と共にQURUWA地区のまちづくりに取り組んでいる7町・広域連合会では、収益活動が伴うイベントの運営など、自治会主体のエリアマネジメントを実施するまちづくり会社が発立され、地域課題の解決を加速化させる新たな取り組みが進められている。5年度の取り組みでは、東岡崎駅エリアビジョンの更新に向けたシンポジウムの開催を始め、地元に着着を持った人を中心に情報発信ができる体制づくりに向け、人材の育成と発掘に取り組む他、更なる民間投資の誘導に向けて、事業リノベーションスクールを開催するなど、まちの魅力の向上に努めていく。

民間人材の活用

問 民間人材と共に仕事をする中で、今までにはない気付きや発見があると考ええる。5年度における活用の新たな取り組みは。

答

企業から人件費の寄附を受けるとともに、専門人材を派遣してもらい、地方創生に関する事業の推進を図る「人材派遣型企業版ふるさと納税」の活用を予定している。この制度を活用した県内初の事例として、5年2月に第一生命保険株式会社と人事交流協定を締結し、4月から公民連携を推進する人材として1人を任用する予定である。本市と民間企業のパイプ役として、現在構築を進めている公民連携プラットフォームの事業を牽引してもらうことを考えている。この他にも本制度を活用した人材の受け入れについて企業と協議を進めており、民間の知見、ノウハウを生かした取り組みにつながるものとして、今後も積極的に活用を進めていきたい。

主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、12・13ページに掲載しています。

条例議案

■**手数料条例の一部改正／マンシ**
ヨンの管理の適正化の推進に関する法律の一部改正に伴い、新たに処理することとなる事務に係る手数料の額の設定等を行う。

■**職員定数条例の一部改正／市費**
負担教員の採用及び消防力の強化等のため、職員の定数の適正化を図る。

■**国民健康保険条例の一部改正／**
健康保険法施行令等の一部改正に準じ、及び国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額及び保険料の後期高齢者支援金等賦課限度額を引き上げるとともに、保険料の軽減対象を拡大し、保険料賦課の適正化を図る。

■**水道事業及び下水道事業の設置**

等に関する条例の一部改正／公共下水道の事業計画の変更に伴い、計画処理人口を36万3835人（現行…33万9763人）に、計画処理区域面積を6183ヘクタール（現行…6108ヘクタール）に、計画1日最大汚水量を15万9909立方メートル（現行…15万2584立方メートル）に改める。

その他議案

■**財産の無償貸付け及び減額貸付け／岡崎駅西口自転車等駐車場**
用地活用事業に係る施設の用地を無償で貸し付け、及び貸付料を減額して貸し付ける。

令和4年度補正予算議案

■**一般会計補正予算（第14号）**
○**総務費／財政調整基金積立金**
公共施設保全整備基金積立金など約55億746万円の増

○**民生費／電力・ガス・食料品等**
価格高騰緊急支援給付金給付事業費、児童手当など約10億927万円の減

○**衛生費／新型コロナウイルス感染症行政検査委託料、新型コロナウイルス感染症自宅療養者サポートセンター運営委託料、子宮頸がん予防接種委託料など**
約12億3655万円の減

○**土木費／東岡崎駅周辺地区整備基金積立金、公園施設整備基金積立金など**
約13億3062万円の増

○**教育費／小学校・中学校施設保全工事請負費、小学校・中学校校舍等特別整備工事請負費、文化施設整備基金積立金など**
約20億5825万円の増

■**国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）**
／一般被保険者療養給付費保険医療機関等負担金、一般被保険者高額療養費負担金など約12億4208万円の減

■**介護保険特別会計補正予算（第3号）**
／特定入所者介護サービス費負担金、介護予防・生活支援サービス事業費指定事業者負担金など約5億4790万円の減

■**水道事業会計補正予算（第3号）**
／受託工事費など4億5721万円の減

■**下水道事業会計補正予算（第3号）**
／管渠施設築造工事費、管渠施設改良工事費など約18億1786万円の増

令和4年度3月補正予算

（単位：万円）

	補正前	補正額	補正後
一般会計	14,433,789	646,775	15,080,564
特別会計	7,094,707	△190,281	6,904,426
企業会計	5,794,985	130,573	5,925,558
合計	27,323,481	587,067	27,910,548

令和5年度当初予算議案

令和5年度当初予算は、「『家康公愛』『岡崎愛』を深め ひとが輝き まちに賑わいが生まれる予算」と位置付け、大河ドラマ「どうする家康」を好機とした地域活性化や本市の魅力向上に取り組むとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に取り組む他、3年目を迎える第7次岡崎市総合計画に掲げる各施策において、着手済みの計画である工業団地造成事業や、アウトレットを核としたまちづくり事業に加え、少子高齢化を始めとする基本施策にもしっかりと取り組みながら、ゼロカーボンシティやDXの推進といった社会環境の変化にも的確に対応していく予算を計上した。

一般会計は1342億2000万円、特別会計は約712億6502万円、企業会計は約617億496万円で、総額は約2671億8998万円となり、4年度当初予算に対して5・4%の増となった。

令和5年度補正予算議案

■一般会計補正予算（第1号）

- 商工費／キャッシュレス決済ポイント還元事業委託料に2億7000万円の増
- 教育費／小学校児童学用品購入支援事業費、中学校生徒学用品購入支援事業費に約1億8935万円の増

令和5年度当初予算・補正予算

（単位：万円）

	当初予算額	補正額	補正後
一般会計	13,422,000	63,893	13,485,893
特別会計	7,126,502	0	7,126,502
企業会計	6,170,496	0	6,170,496
合計	26,718,998	63,893	26,782,891

予算決算委員会を新たに設置しました

本市議会では、令和5年3月定例会から、議長を除く全議員が所属する「**予算決算委員会**」を新たに常任委員会として設置しました。審査の対象は、予算（補正含む）及び決算に関することです。

これまでは、予算議案は各常任委員会へ分割付託をして審査し、決算認定議案は決算特別委員会を設置して審議をしていましたが、今後は、一つの委員会で予算議案と決算認定議案の審査を、より一体的・効率的に行うことになります。

新たな審査方法

予算議案・決算認定議案



予算決算委員会

総務企画分科会

福祉病院分科会

文教経済分科会

建設環境分科会

- ・ 予算決算委員会が決算認定議案を含む全ての予算関係議案を審査する。
- ・ 審査は各分科会で行い、採決は予算決算委員会（議長を除く全議員）で行う。

委員会審査

常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

手数料条例の一部改正

問 マンション管理計画の認定に係る条例改正の概要と、認定を受けるメリットは。

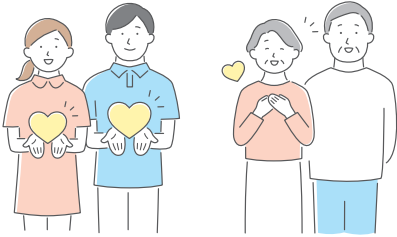
答 本市において、マンション管理適正化推進計画を策定、公表し、4月から認定制度を開始する予定としており、その認定審査に係る手数料の額等を定めるものである。この認定を受けるメリットとしては、認定されたマンションは住宅金融支援機構による金利優遇措置の対象となり、購入の際や共用部分のリフォーム工事を行う際の借入金利が引き下げられる。管理組合が修繕費を積み立てる際の金利が上乘せされたりすることなどがある。

福祉病院委員会

国民健康保険条例の一部改正

問 保険料の後期高齢者支援金等賦課限度額の引き上げにより、被保険者にどのような影響があるのか。

答 限度額の引き上げにより、高所得者層にも応分の負担を求め、負担感が重いとされる中間所得者層の負担上昇が緩和される。令和4年度の料率算定時点の状態で限度額を引き上げたものとして試算をしたところ、モデルケースとして、2人世帯で、両者とも40歳未満で医療分と後期分が該当する場合は、給与収入がおおよそ1225万円程度で限度額に達し、給与収入がおおよそ1000万円以下の世帯で保険料が引き下がることになる。



文教経済委員会

幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部改正

問 条例改正の概要は。

答 基準となる告示が一部改正されたことに伴い、条例で定める認定の要件を見直すものである。内容としては、送迎用バス等での幼児等の所在確認と安全装置の装備の義務付け、職員の配置基準の特例の2点である。1点目は、送迎バスでの園児の置き去り事案による告示改正を受け、本条例においても告示と同様に、園児の通園や園外活動等のために自動車を運行する場合の園児の所在確認義務や、車内の園児の見落としを防止する装置を設置し、園児の降車時の所在確認義務等を加えるものである。2点目は、認定こども園に配置しなければならない保育士を、告示と同様に、1人に限り看護師等をもって代えることができるものとするものである。

建設環境委員会

財産の無償貸付け及び減額貸付け（岡崎駅西口自転車等駐車場用地活用事業に係る施設の用地）

問 貸付料を減額する理由とその額の違いは。

答 本事業において、市が求める駅前のにぎわい創出や、人が集いとどまることが想定できる商業施設や駅利用者の待合機能などの整備と、継続した運営を図るため、国の支援策である都市機能立地支援事業に準じて貸付料の減額を行う。その内容は、必須提案事業である駐輪場と飲食などの商業施設の2543平方メートルは、市の支援分と国に代わり市が支援する分を合わせた貸付料の3分の2を減額する。また、必須提案施設であるトイレ及び喫煙所の273平方メートルは、公共性が高く収益性が低いことを鑑みて貸付料の全額を減額する。残りの民間提案施設の1096平方メートルは、市の支援分として貸付料の3分の1を減額する。

予算決算委員会

総務企画分科会

5年度一般会計予算

総務費

問 政策企画推進支援委託料の業務内容は。

答 二つの業務があり、一つ目はサイクルシェア実証実験を実施する業務である。中心市街地の周辺部に新たに設置したステーション及び拡大したエリアの需要の把握や効率的な運用の在り方について検証が必要のため、実証実験を行う。二つ目はモビリティ課題解決施策構築業務である。ドローンを始めとする次世代モビリティは多様な可能性を持っており、その活用に向けて市場の動向、制度や規制の状況、先進事例等について調査し、本市の地域特性に沿った地域モデルの検討など、行政課題の解決に向けた今後の取り組みについて検討を行う。

福祉病院分科会

5年度一般会計予算

衛生費

問 飼い主のいない猫避妊・去勢手術事業補助業務の概要は。

答 本市では、飼い主のいない猫の繁殖を抑制することにより、殺処分数が減少し、動物と人が共生できる社会の実現を目指している。本事業は、飼い主のいない猫を捕獲して動物病院で避妊・去勢手術をさせ、そのかかった手術費用の一部を補助する事業である。補助金の申請者は市内在住・在勤の個人または市内に事業所等がある法人や動物愛護活動団体及び学区総代であり、補助金の上限額は1頭当たり雌が5千円、雄が3千円である。また、申請者にはペットシートと餌をセットにした捕獲おりを無償で貸与する。なお、外飼いの猫と区別するため、生息地域の住民を含む複数名で、対象となる猫に飼い主がいないことを確認してもらう。

文教経済分科会

5年度一般会計予算

商工費

問 オーディオガイドやデジタルハイキングといった取り組みにより、新たに市内の回遊促進を展開する事業の内容は。

答 オーディオガイドとは、観光客がスマートフォンを使って観光情報を聞くことができる音声ガイドサービスであり、本市の魅力をストックリー性豊かに伝えることに重きを置きながら企画していく。デジタルハイキングとは、決められた日時にコースを回る従来型のウォーキングイベントから進化させ、日時は限定せずに一定期間を設定し、好きな日時に参加できる環境を市民や観光客に提供するものである。スマートフォンを使いながら、GPSと連動したチェックポイントを回り、コース周辺の飲食店などに立ち寄ってもらう、周遊による観光消費につなげていく。

建設環境分科会

5年度一般会計予算

衛生費

問 粗大ごみ収集システムを新たに導入することによる効果は。

答 現在、粗大ごみ有料戸別収集の申し込みは、業務時間中の電話予約のみに限られているが、新たなシステムを導入することでスマートフォンやパソコンなどからウェブ上で24時間いつでも予約ができるようになり、市民の利便性が高まる。システムの導入後は、カーナビゲーション機能を搭載した車載タブレットで予約情報などを確認しながら収集することが可能となり、作業、確認時間の削減によって、1日当たりの収集件数の増加につながることも見込まれる。現状で予約から回収まで1か月以上となっている期間が、短縮・改善され、市民サービスの向上が図れると考えている。

本会議において各委員会審査の委員長報告を受け、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

5年度一般会計予算

自民清風会

「おかざきDXビジョンに基づき、デジタル技術の活用で一步先の暮らしを実感できる社会の実現を推進することは重要である。窓口キヤッシュレス決済の本格導入、証明書オンライン申請サービスの拡充、高齢者向けスマホ教室の開催、町内会活動のデジタル化支援などの取り組みによって、市民生活の利便性の向上や市民サービスの更なる向上につながることを期待する。また、現在保育中に出る使用済み紙おむつは保護者の持ち帰りとなっているが、公立の保育園やこども園では廃棄を行い、私立保育園で廃棄を実施する場合には、処分に関する費用の一部を補助する。保育士の負担軽減、保護者の利便性向上、衛生環境の向上につ

ながる有効な施策であり、評価する」と意見を述べ、**賛成**した。

民政クラブ

「本市独自の取り組みとして、後期高齢者全体を対象に健康状態やフレイルリスクを把握し、地域全体の健康課題を把握する。健康課題に合わせた事業展開により、生活習慣病の重症化や介護の予防に加え、適切な支援につなげることが可能となる。高齢者が地域のごまんどく体操や老人クラブなどの通いの場でつながり、住み慣れた地域でその人らしく自立した生活が送れるようになることを期待する。また、『みんなの声で作る！おかざきこそだて会議』を引き続き開催し、子育て家庭の意見や要望を抽出しながら行政課題の解決に取り組む。企業への理解を促進し、市内事業者も参画しやすい企画運営をされたい」と意見を述べ、**賛成**した。

チャレンジ岡崎

「アフター大河を見据えた観光基

ーマとして、アフターコロナ、岡崎観光の深掘り、リピーターの獲得、若者交流人口の更なる獲得などを挙げている。観光産業はこれからの本市にとって重要な産業になる可能性を秘めたものの一つである。市民、事業者など様々な方面からの声を聴き、計画を策定されたい」と意見を述べ、**賛成**した。

公明党

「市立小学校で4月から1年生の32人学級がスタートする。全国的には教員の成り手不足が問題になっている。ICTを活用した質の高い授業やオンライン授業など新たな学びの提供もあり、教師に求められる技量も高くなる。その中で今後不足なく優秀な人材を確保するには、計画的なリクルーティングが必要となる。本市を選んでもらえるよう努められたい」と意見を述べ、**賛成**した。

無所属・日本共産党岡崎市議会

「南公園の整備はPFI事業で実施すべきではない。また、事業計画で廃止となるテニスコートとグラウンドの代替施設は、いまだ

にめどが立っていない。このまま南公園の改修を優先させることは、パブリックコメントに寄せられた意見を無視し、スポーツ施設配置整備方針にも反している。代替施設なしで進めるべきではない」と意見を述べ、**反対**した。

無所属・大原昌幸

「将来の公共施設や道路、橋などのインフラの修繕・更新費用が498億円不足すると試算されている中で、太陽の城跡地の活用に関しては、いったん白紙にするべきであり、事業者側が撤退を決定した状況でコンベンション事業を継続していくべきではないと考える」と意見を述べ、**反対**した。

無所属・田口正夫

「災害対応特殊はしご付消防自動車や災害対応特殊救急自動車、本市で初となる30級級屈折式はしご車など、どれも重要な車両の配備である。災害はいつやってくるかわからない。いざという時に十分に機能が発揮できる機械器具の配備は非常に重要なことである」と意見を述べ、**賛成**した。

3月定例会

件名			採決等の結果	件名			採決等の結果
市長提出議案				市27	令和4年度水道事業会計補正予算（第3号）	可決（全員）	可決（全員）
承1	令和4年度一般会計補正予算の専決処分		可決（全員）	市28	令和4年度下水道事業会計補正予算（第3号）		
市1	包括外部監査契約			可決（多数）	市29	令和5年度一般会計予算	可決（多数）
市2	財産の無償貸付け及び減額貸付け（岡崎駅西口自転車等駐車場用地活用事業に係る施設の用地）		可決（全員）		市30	令和5年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計予算	可決（全員）
市3	財産の交換			可決（多数）	市31	令和5年度農業集落排水事業特別会計予算	可決（多数）
市4	手数料条例の一部改正		市32		令和5年度国民健康保険事業特別会計予算	可決（多数）	
市5	附属機関設置条例の一部改正		可決（多数）	市33	令和5年度後期高齢者医療特別会計予算	可決（全員）	
市6	職員定数条例の一部改正			市34	令和5年度介護保険特別会計予算	可決（多数）	
市7	市長等の給料の月額の特例に関する条例の制定		可決（全員）	市35	令和5年度継続契約集合支払特別会計予算	可決（多数）	
市8	国民健康保険条例の一部改正			市36	令和5年度額田北部診療所特別会計予算		
市9	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部改正		可決（多数）	市37	令和5年度こども発達医療センター特別会計予算	可決（多数）	
市10	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正			市38	令和5年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計予算		
市11	市営住宅条例の一部改正		可決（多数）	市39	令和5年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決（全員）	
市12	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正			市40	令和5年度宮崎財産区特別会計予算		
市13	市費負担教員の給与等の特例に関する条例の一部改正		可決（多数）	市41	令和5年度形埜財産区特別会計予算	可決（多数）	
市14	令和4年度一般会計補正予算（第14号）			市42	令和5年度病院事業会計予算		
市15	令和4年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算（第4号）		可決（多数）	市43	令和5年度水道事業会計予算	可決（多数）	
市16	令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）			市44	令和5年度下水道事業会計予算		
市17	令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）		可決（全員）	市45	令和5年度一般会計補正予算（第1号）	可決（多数）	
市18	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）			同1	副市長の選任		同意（多数）
市19	令和4年度介護保険特別会計補正予算（第3号）		可決（多数）	同2	監査委員の選任	同意（全員）	
市20	令和4年度継続契約集合支払特別会計補正予算（第3号）			議員提出議案			
市21	令和4年度額田北部診療所特別会計補正予算（第2号）		可決（多数）	議1	委員会条例の一部改正	可決（全員）	
市22	令和4年度こども発達医療センター特別会計補正予算（第3号）			請願			
市23	令和4年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計補正予算（第1号）		可決（多数）	請1	大軍拡・大増税をやめ、安保関連3文書の撤回を求める意見書の提出	不採択	
市24	令和4年度宮崎財産区特別会計補正予算（第1号）			※採決等の結果が分かれたものの詳細は、議案等の賛否一覧表をご覧ください。			
市25	令和4年度形埜財産区特別会計補正予算（第1号）		可決（全員）	件名			
市26	令和4年度病院事業会計補正予算（第3号）			陳情			
市27	令和4年度額田北部診療所特別会計補正予算（第2号）		可決（多数）	陳1	小児のmRNA新型コロナワクチン接種後の心筋炎・心膜炎に関する市民への注意喚起を求めること		
市28	令和4年度こども発達医療センター特別会計補正予算（第3号）			陳2	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求めること		
市29	令和4年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計補正予算（第1号）		可決（多数）	陳3	公正に判断する部署の設置を求めること		
市30	令和4年度宮崎財産区特別会計補正予算（第1号）			※陳情は、市長等の関係機関へ意見を付して送付しています。			

議案等の賛否一覧表

賛成・反対の双方があった議案等について表示しています。(○：賛成、×：反対)

議案等	自民清風会										民政クラブ						チャレンジ岡崎		公明党		無・共		無所属				議 副											
	磯部 亮次	小木曾智洋	荻野 秀範	加藤 義幸	酒井 正一	鈴木 静男	中根 武彦	野々山雄一郎	野本 篤	蜂須賀喜久好	原田 範次	廣重 敦	前田 麗子	築瀬 太	井町 圭孝	井村 伸幸	加藤 学	加藤 嘉哉	佐藤 哲朗	柴田 敏光	原 紀彦	三宅 健司	青山 晃子	小田 高之	近藤 敏浩	杉山 智騎	土谷 直樹	野島さつき	畑尻 宣長	鈴木 雅子	中根 善明	大原 昌幸	田口 正夫	三塩 菜摘	柳 賢一	杉浦 久直	鈴木 英樹	
市2、14、19、32、34 同1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	—	○
市29	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	—	○	
請1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	—	×	

※会派の名称：議＝議長、副＝副議長、無・共＝無所属・日本共産党

※議長は議決に加わらないため「－」と表示しています。また、欠席者は「／」と表示しています。

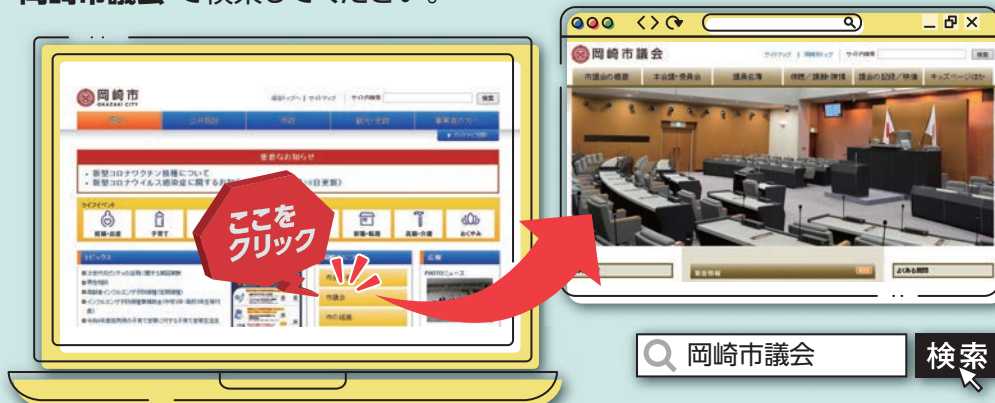
緊急質問を実施

令和5年3月16日に新聞報道のあった市長の事務所問題について、
3月定例会最終日に9人の議員が緊急質問を行いました。
詳細は、右の二次元コードからインターネットでご覧いただけます。



市議会ウェブページ

市議会の活動をご覧いただけます。
詳しくは、岡崎市ウェブサイトのトップページから「市議会」をクリックするか、
岡崎市議会 で検索してください。



特別委員会		
ごみ減量推進		
1月17日	1 本市の現状 2 委員会の今後の取り組み	議会大会議室
2月14日	委員会の今後の取り組み	議会大会議室
議会BCP策定		
1月19日	委員会の今後の取り組み	議会大会議室
2月14日	議会BCP	議会大会議室

議会運営委員会		
1月20日	議会運営	議会大会議室
2月16日	3月定例会の運営等	議会大会議室

議会広報委員会		
12月23日	意見交換会	議会大会議室
1月6日	1 議会だより第216号の発行 2 意見交換会	議会大会議室
2月1日	意見交換会	議会大会議室

文教経済委員会

1月26日 送迎保育ステーション【松戸市】

調査内容

松戸市では、保育需要の高い駅周辺から比較的確率に余裕のある地域に子どもをバスで送迎することにより、地域偏在の解消を図っている。市内に送迎保育ステーションを7施設開設しており、その取り組みについて調査を行った。

委員長所感

松戸市における幼児教育に求める親の思いを感じ取れる内容であった。女性の働く機会を奪わないための施策でもあり、本市も取り組むべき価値があると感じている。しかし、その前に0～2歳児を預かる場所の確保が急務であるとも考える。その上での、送迎サービスである。本市としては、保育の受け皿の充実と送迎ステーションの設置による利便性の向上を目指すことで、安心して生み育てられる環境整備につながるのではないかと。



その他の調査事項

- 1月25日 ポストコロナを見据えた観光施策【川崎市】
- 1月31日 岡崎市小規模特認校制度

建設環境委員会

1月25日 災害に強い水道づくり【豊中市】

調査内容

豊中市では、災害に強い水道づくりへの取り組みとして、被害発生抑制の観点及び影響の最小化の観点から、「水を貯める」「水を止めない」「応急対応」の3点に取り組んでおり、その取り組みについて調査を行った。

委員長所感

今後30年以内に高い確率で発生が予想されている南海トラフ地震では、本市においても甚大な被害が想定されている。水道の復旧に多くの日数を要して、市民の生命に関わる水を止めてはならない。豊中市の配水ブロック化事業や近隣4市との水の相互融通を始めとした「災害に強い水道づくり」を参考として、本市においてもその地域性に合った取り組みを展開されたい。



その他の調査事項

- 1月17日 ①脱炭素先行地域
②岡崎市地球温暖化対策実行計画の改定
- 1月26日 脱炭素先行地域【堺市】

委員会調査報告

(12月定例会終了後～2月)

現在、本市議会では五つの常任委員会と二つの特別委員会、議会運営委員会、議会広報委員会を設置しています。

予算決算委員会を除く常任委員会では、閉会中も所管事項に関する調査、市内外への行政視察調査を行っています。今回は、各常任委員会の調査事項をお知らせします。

視察調査報告書の詳細は、市議会HPに掲載していますのでご覧ください。

総務企画委員会

1月24日 公民連携の取り組み 【神戸市】

調査内容

柔軟な発想や優れた技術力を持つスタートアップ企業と、社会・行政課題を詳しく知る市職員が協働して最適な解決方法を見だし、サービスの構築・実証を目指すプロジェクトについて調査を行った。

委員長所感

行政として課題をしっかりと上げて、企業とのマッチングを行えるよう本市としても取り組むべきである。公民連携をすることで、地域課題についての情報交換や調査研究を行うことができ、また業務を削減することも可能であると考え、職員のスキルアップも行っていかななくては取り組むことは難しいのではないかと思います。企業に全て任せるという考えではなく、協働してよりよいものにするというものである、全て丸投げということのないよう、効率的に効果を上げられるよう行うことを期待する。



その他の調査事項

1月25日 外国人防災リーダー養成研修【総社市】

福祉病院委員会

1月24日 ポジティブ・シニアをつなぐ
応援プロジェクト 【文京区】

調査内容

心身の健康の維持には、体を動かしたり人と交流したりすることが大切である。高齢者等の健康の維持や、地域での新たなつながりをつくるため、心・技・体の三つの応援事業をしている文京区の取り組みについて調査を行った。

委員長所感

高齢者等見守りあんしん電話（心）、シニア向けスマートフォン使い方教室（技）、シニアのためのフィットネス教室（体）など、望めば誰でもサービスが受けられる。本市においては、地域包括支援センターにサービス内容を任せている部分があり、受けたいサービスが受けられない場合も想定される。地域の特性もあると思うが、どの地域にいても全市で同じサービスが受けられるようなシステムを構築されたい。



その他の調査事項

1月19日 岡崎市病院事業経営強化プラン(案)

1月23日 地域ねこ情報アプリの活用【浦安市】

6月定例会予定

6月定例会の
請願・陳情提出締め切りは、

5月19日金

です。

月	火	水	木	金	土	日
5/29	30	31	6/1	2 開会、市長提案説明、議案説明、一般質問	3	4
5 一般質問	6	7	8 一般質問	9 一般質問	10	11
12 議案質疑、委員会付託 予算決算委員会	13 議案検討	14	15 予算決算委員会 分科会・常任委員会	16 予算決算委員会 分科会・常任委員会	17	18
19	20	21 予算決算委員会	22 議会運営委員会	23 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会	24	25

○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、予算決算委員会分科会・常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定（開催順序などは5月23日に決定）です。

6月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。

変更する場合は、岡崎市議会HPでお知らせいたします。

議会中継について

議会中継は、右の二次元コードからインターネットでご視聴いただけます。



請願と陳情

市政について意見があるときは、請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願は市議会議員の紹介を必要としますが、陳情の場合はその必要がありません。

市議会では、請願については委員会で審査した後、本会議で採択か不採択を決定し、その結論を請願者へ通知します。採択した請願は、必要と認めた場合、関係機関に処理の結果の報告を求めます。

一方、陳情は委員会で意見を述べるだけで本会議に報告した後、関係機関に意見を付して送付します。また、審査結果を陳情者へ通知します。

請願（陳情）書式例

〇〇〇に関する請願書
(陳情書)

令和 年 月 日

(宛先) 岡崎市議会議員
〇 〇 〇

住 所
代表者氏名

〇〇〇に関する請願(陳情)

1 要旨 何々であるので
何々してください

2 理由

(請願書のみ)

紹介議員
岡崎市議会議員 氏名



表紙の写真



奥殿学区で初開催となる春まつりの様子です。雨天で室内での開催となりましたが、地元の皆様にとっても待望となるおまつりの開催に、明るい未来の兆しが感じられます。

会派等の連絡先

自 民 清 風 会	☎23-6390
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394
チ ャ レ ン ジ 岡 崎	☎23-6364
公 明 党	☎23-6396
無所属	日 本 共 産 党 ☎23-6397
	無 所 属 ☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課（☎23-6971・FAX23-6538）までお問い合わせください。